

第3回マージン検討会 議事録

日 時 平成 28 年 2 月 17 日 (水) 15:00~16:00

場 所 電力広域的運営推進機関 (会議室 C) 及び各社 TV 会議室

出席者

東谷 徹 (北海道電力株式会社 工務部広域システムグループリーダー)
高橋 英人 (東北電力株式会社 電力システム部給電グループ課長)
福元 直行 (東京電力株式会社 系統運用部系統運用計画グループ副長) 代理出席
山中 芳之 (中部電力株式会社 系統運用部給電企画グループ課長)
柴田 創 (北陸電力株式会社 電力流通部系統運用チーム チーム統括課長)
中瀬 達也 (関西電力株式会社 給電計画グループチーフマネージャー)
柴田 保 (中国電力株式会社 流通事業本部系統技術グループマネージャー)
長谷川 隆 (四国電力株式会社 系統運用部給電グループリーダー)
河北 倫具 (九州電力株式会社 電力輸送本部給電計画グループ副長) 代理出席

事務局

中本 健二 (電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループマネージャー)
神田 光章 (電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループマネージャー)
吉田 重宏 (電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ)
小野 健志 (電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ)
坂本 将臣 (電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ)
原田 慎也 (電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ)
堀川 達弘 (電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ)

配布資料

- (資料 1) 翌年度以降のマージン (長期・年間) について
- (資料 2) 連系線のマージン (長期及び実需給断面) について

議題 1 : 翌年度以降のマージン (長期・年間) について

事務局から資料 1 の説明後、マージンの値の妥当性について議論を行った。

[主な議論] ○検討会 ●事務局

- : シート 5 のマージン (平成 28 年度) について、中部・関西-北陸間 (北陸フェンス) の備考欄に「4/27~5/7 は 500MW」と記載があるが、「4/30~5/5」になると思うので

修正頂きたい。

- ：ご指摘どおり、4/27～29 と 5/6～7 は最大ユニットが 700MW となるため、「4/30～5/5 は 500MW」に修正する。
- ：東京エリア向きの年間マージンについては、季別から月毎の算出へ変更となったことから、「東京エリアの融通期待量（系統容量の 3%相当）の半量」が、実需給断面で確保するマージンより小さくなる断面も出てくるため、「マージン設定の考え方」に追加のコメントを記載頂きたい。
- ：了解した。但し書きで、実需給断面で確保するマージンの方が大きい場合はその値とする趣旨の事項を追記する。
- ：シート 9 の（※2）の F C 増強に関するコメントについて、運開予定は「平成 32 年度」に修正頂きたい。
- ：誤記のため修正する。

議題 2：連系線のマージン（長期及び実需給断面）について

事務局から資料 2 の説明後、議論を行った。

- ：長期計画の値について、増強予定の北海道本州間連系設備と東京中部間連系設備の増加分の運用容量をマージンとして扱うこととなっているが、資料 2 ではその分が除かれた値で記載されているため、加味した値に変更すべきではないか。
- ：記載方法を検討のうえ修正させて頂く。
- ：一覧表は上から順方向・逆方向の順番で記載したほうがよいのではないか。
- ：ご指摘どおり修正する。
- ：東北東京間連系線（東京向き）実需給断面におけるマージンは 45 万 kW としているが、運用容量が熱容量で決まる場合を含めたマージン必要量について、来年度の課題として検討することを考えている。
- ：課題について了解した。検討スケジュール等については別途相談させて頂きたい。

以上